

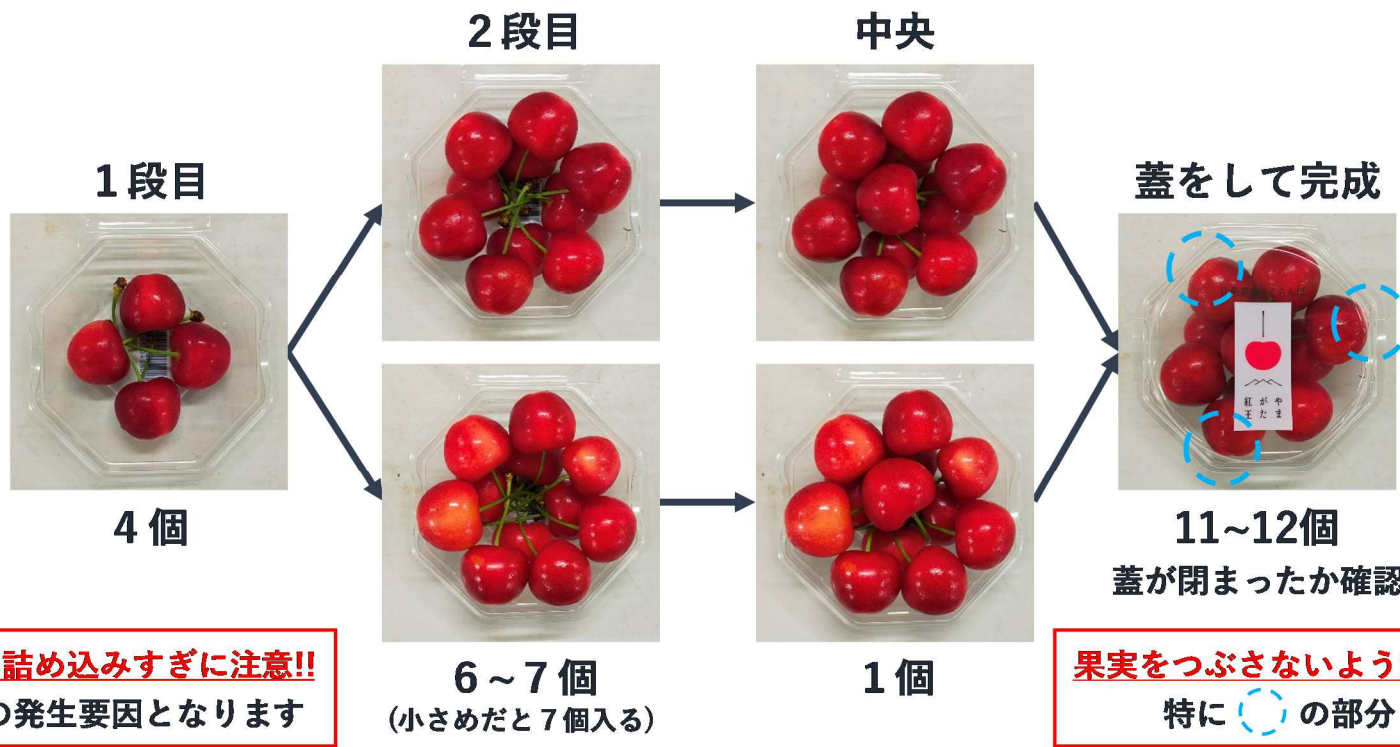
詰め方は、いずれも一例です

# 「やまがた紅王」 詰め方・選果マニュアル

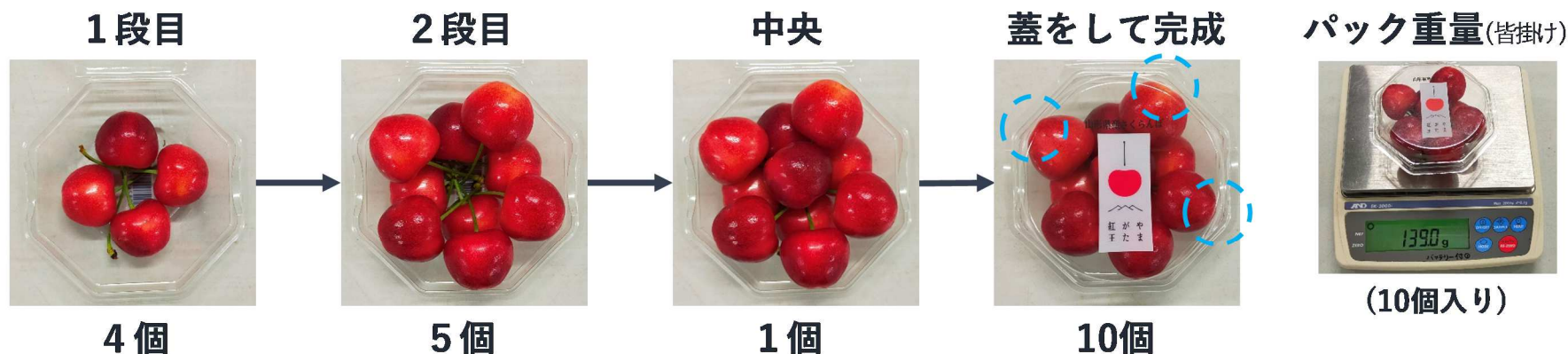
令和6年6月作成

## 1. 100gダイヤパック(皆掛け110g以上)

《3Lサイズ》



《4Lサイズ》



## 2. 200gフードパック(2Lサイズ, 皆掛け220g以上)

バラ詰め(2段まで)



22~30個程度  
(写真は24個)

蓋をして完成



軸が外に出ないように注意

パック重量(皆掛け)



(24個入り)

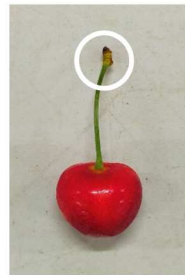
## 3. 30粒入り化粧箱(3Lサイズ)

①資材の準備



果実サイズで内寸と  
ウレタンが違う  
(外寸と蓋は同一)

②軸の先端部分を取り除く



この部分が残っていると  
ウレタンの溝に引っかかり、  
軸を差し込みにくくなる

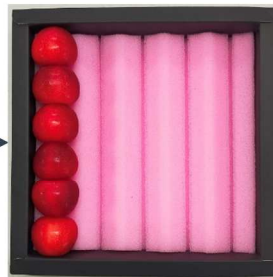
③ウレタンに合わせて詰める



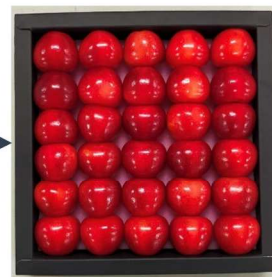
ウレタンの溝に  
軸を差し込んでいく



後半2個は  
反対向きに詰める  
(軸を交互に差し込む)



1列完成

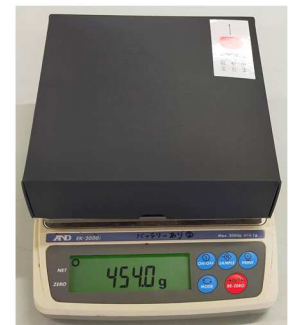


詰め終わり



フィルムを貼り、  
蓋をして完成

④重量(皆掛け)



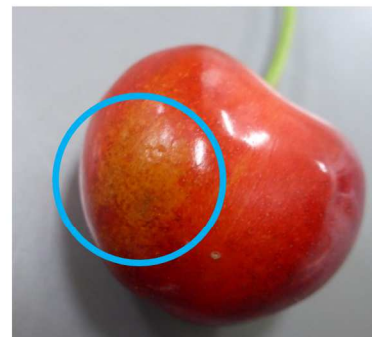
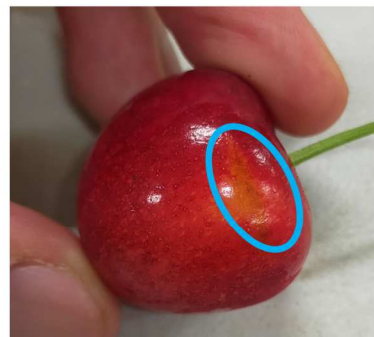
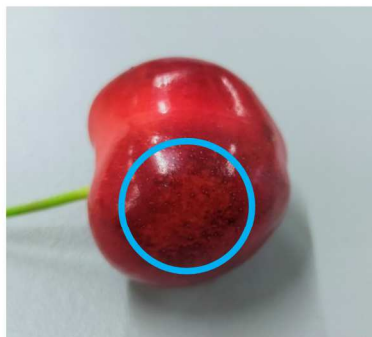
## 4. 障害果選別のポイント

### 《くぼみ果》



- ・果面に針大~5mm程度の陥没が発生
- ・**甚大なものは規格外**、軽微~中程度なものは等級を下げて出荷

### 《風ズレ果》 《日焼け果》



- ・果皮表面にカスリ状の汚損が発生
- ・発生部位から腐敗しやすく、日持ちが劣るため、**出荷しない**

### 《過着色果》



- ・着色が進み過ぎてツヤがなくなる
- ・日持ち性が劣るため、**出荷しない**
- ・着色した果実から**すぐりもぎ**  
(必ず食味を確認!!)

## <過着色果の目安>



過着色果

正常果

### <特徴>

- ・着色が進み過ぎて、黒ずんでいる
- ・果皮のツヤがなくなっている
- ・樹上部や2年枝基部など、日当たりの良い場所で発生が多い

### <対策>

- ・着色した果実からすぐりもぎ (**必ず食味を確認!!**)
- ・明るい園地（新植園など、日差しを遮るものがない園地）では、着色管理を最小限にする（葉摘み、新梢管理）
- ・収穫期に高温が続く場合、反射シートを早めに撤去する



**明るい園地は特に注意**